**「へいきのヘイタ」**

　へいきのヘイタはおばけを、

まったくこわがらない男の子で

す。**わたしは、おばけがいると**

**おもっているので、　よるに、**

**トイレにいくときだけ、とくべ**

**つにこわいです。わたしは、**

**おばけもいるとおもうし、サン**

**タさんもいるとおもいます。サ**

**ンタさんはすきですが、トイレ**

**からでてきたらこわいです。ヘ**

**イタは、おばけを、こわがらな**

**いので、なんでこわがらないか、**

**ふしぎです。**

　ヘイタは、「「こわい」って

どんな気もちになるのかしりた

いもんだ。ああ、だれかおれを

思いっきりゾゾッとふるえあが

らせてくれないものかなあ。」

と、思っていたので、たびびと

のいったおばけやしきにすむこ

とになりました。

**わたしは、ゾゾッとしたこと**

**はないとおもっていますが、「**

**シュワー」とかんじたことは、**

**なんかいかあります。「シュワ**

**ー」としたときとは、おちゃを**

**こぼしそうになったときやおぼ**

**れそうになったときに、からだ**

**がいっしゅんちょっとさむくな**

**るかんじのことです。なので、**

**ヘイタのいっている「ゾゾッ」**

**とするのは、「シュワー」に、**

**にているとおもっています。**

　ヘイタは、おばけやしきにす

みはじめてから、ひとつめこぞ

う、火の玉、手首のおばけ、ば

けだたみなどやく27しゅるいの

おばけと、あいます。ヘイタは、

であった、おばけを、ぜんぜん、

こわがらないし、であったおば

けに、そうじや、せんたくなど、

家のしごとなどいろんなことを、

おばけにさせます。ヘイタは、

おばえにいろんなことをやらせ

たので、おばけが、でていって

しまいました。ヘイタは、ひと

りになってはじめて、「ゾゾッ」

としました。**ヘイタが、「ゾゾ**

**ッ」としたのが、おもしろかっ**

**たです。**

**ヘイタのおはなしを、えらん**

**で、いいとおもいました。たの**

**しそうだったから、です。**